

2019（令和元年）年度 通常総会 議案書

2019年 7月 27日（土）

東京大学農学部中島董一郎記念講堂

特定非営利活動法人 日本環境管理監査人協会

法人の名称 特定非営利活動法人 日本環境管理監査人協会

1. 事業活動概要

研究会活動については監査実務研究会とEPE研究会が、研究活動で成果を挙げた。

セミナーや講演会活動では、2018年度総会併設講演会及び地域(東京・世田谷工業振興協会)に協力してのセミナーの実施に加えて定例の春・秋のセミナーを行った。

この他、12月に開催のエコプロ展ではNPOブースに出展し、活動のPRを行った。

2. 事業報告

[1] 環境マネジメントに関する調査研究事業(定款第5条第1号に係わる事業、以下関連号のみ記す)

(1) 環境監査実務研究事業

1) 内容 監査実務研究会(略称:実務研)・EMS支援方法及びコンサルティング技法の研究の検討会

「監査実務研究会」の2018年度活動は、2015年に改訂された「ISO14001」の規格の要求事項について原文を参照しながら、重要なポイントをについて個別に検討し、特に規格の意図、規格のねらいをISO9001等の他規格と比較し、相違点や共通点を明確にしながらかの求めるものを正確に理解する。要求事項の具現化に際しては経営に貢献するEMSとは何か、関連する他のMSとの統合や連携を加味する。併せて審査員の立場から審査での留意すべきことを検討する。加えて、具体的な事例を取り上げて、より良いEMS構築に資する点を明確にする。特に2018年度はSDGsでの17項目から関連する事項も加味して研究を進めた。

2) 日時 定例研究会はほぼ毎月1回

3) 場所 調査研究活動は主として東京中野「AUDIX Registrars 会議室」で行った。

4) 従事者 研究会会員 20名; 研究会参加者延べ90名

5) 受益者 環境マネジメントに携わる多数の人々

6) 支出額 収支計算書参照

(2) 環境パフォーマンス評価研究事業

1) 内容 : 環境パフォーマンス研究会(略称:EPE研)

研究会は当初の環境パフォーマンス評価研究の原点へ戻り、2015年規格改訂を踏まえ、各種具体的資料入手のもと、経営効率及びCSR、ESGさらにはSDGsの視点を加えての有用な環境パフォーマンス評価の方法及び評価指標の研究に加えて定量的な評価と情報発信のあり方について研究を行った。

2) 日時 定例研究会は、原則 毎月1回

3) 場所 主としてKAZコンサルティングの会議室を利用して実施した。

4) 従事者 研究会会員 10名; 研究会参加者延べ80名

5) 受益者 エネルギー管理、環境パフォーマンス評価や関連する研究に関心を持つ多くの人々

6) 支出額 収支計算書参照

(3) その他の研究事業

SDGsに伴い、サーキュラーエコノミーやLCAに着目して、新しい研究会スタート準備中である。

[2] 環境マネジメントに関する情報提供事業(第2号に係わる事業)

(1) 電子媒体による双方向情報発信事業

メーリングリストの活用によるタイムリーな情報発信(新聞情報、JEMASニュース等)と研究事業ごとの登録制情報(メーリングリスト)による情報の共有と意見交換を進めた。

- 1) 内容 ・メーリングリストとホームページによる、主要新聞に掲載の環境マネジメント関連情報の発信
・メーリングリストの活用によるタイムリーな会告形式での情報発信
- 2) 日時 通年
- 3) 場所 情報端末上, 電子媒体
- 4) 従事者 担当の理事, 運営委員 4名
- 5) 受益者 環境マネジメントに関心を持つ多くの人々
- 6) 支出額 収支計算書参照

[3] 環境マネジメントに関する講演会, 研修会等の企画・運営事業 (第3号に係わる事業)

会員及び一般の方々への環境マネジメントの普及・啓発のため総会開催時と秋2回、春2回の計4回、講演会及びセミナーを開催した。加えて 世田谷工業振興協会のセミナー (2回) にも協力した。

(1) 総会併設 特別講演会

1) 内容: プログラム

- テーマ1: JEMAS 実務研成果報告 (ISO14001の改訂への対応他)
JEMAS 理事 AUDIX Registrars 社長 齋藤喜孝
- テーマ2: JEMAS EPE研成果報告 (EPEの評価基準の検討と今後)
JEMAS 理事 富士通FIP (株) 環境経営主席コンサルタント 伊藤泰志
- 特別講演: 「工場と地域の対話を実現する持続可能な開発目標 (SDGs)」
独立行政法人製品評価技術基盤機構・化学物質管理センター・調査官
横浜国立大学環境情報研究院客員准教授 竹田宣人氏

- 2) 日時 2018年7月21日(土)
- 3) 場所 東京大学本郷キャンパス 弥生講堂アネックス・講義室
- 4) 従事者 8名
- 5) 参加者 30名 (環境マネジメントに関心を持つ人—不特定多数)
- 6) 支出額 収支計算書参照

(2) 2018年 JEMAS 9月 セミナー

1) プログラム: 「リスク」「リスク管理」とは何か、原点に立ち返って考えてみよう

- 講演1 「リスク・リスクマネジメントの本質はなにか。リスクと社会の共生とは」
横浜国立大学・リスク共生社会創造センター長、教授 野口和彦氏
- 講演2 「ISO45001で求められている安全管理の本質と環境・品質を統合したMS構築」
JEMAS 理事 AUDIX Registrars 社長 齋藤喜孝

- 2) 日 時 2018年9月15日 (土)
- 3) 場 所 東京大学農学部キャンパス 弥生講堂アネックス・講義室
- 4) 従事者 6名
- 5) 参加者 25名 (環境経営及び環境マネジメントシステムに関心を持つ人—不特定多数)
- 6) 支出額 収支計算書参照

(3) 2018年 JEMAS 10月 セミナー

1) プログラム: 「パリ協定」「SDGs」とは何か、企業活動の原点に立ち返って考えてみよう

- 講演1 「CSR、GRI、グローバルコンパクトからSDGsへ」
JEMAS 顧問 後藤敏彦
- 講演2 「SDGsとは何か、個々の企業の具体的な取り組み」
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 コンサルティング事業本部社会システム共創部
チーフコンサルタント 加藤祥子氏
- 講演3 「カーボンプライシングの現況と今後の方向性について」
コンサルティングオフィス・松山 (TREIN 所属) 松山俊明氏

- 2) 日 時 2018年10月13日 (土)

- 3) 場 所 東京大学農学部キャンパス 弥生講堂アネックス・講義室
 4) 従事者 6名
 5) 参加者 25名 (環境経営及び環境マネジメントシステムに関心を持つ人—不特定多数)
 6) 支出額 収支計算書参照

(4) 2019年 JEMAS 2月セミナー

- 1) プログラム:「省エネ」「温暖化ガス排出削減」を足元から見つめて見ませんか
 講演1 「パリ協定の具現化に向けての課題」

	JEMAS 理事長 東工大非常勤講師	小山富士雄
講演2 「J-クレジット制度の概要とカーボン・オフセットについて」	環境経済株式会社社長	尾崎寛太郎氏
講演3 「TREINの活動紹介と中小企業への省エネ支援」	TREIN代表	市川哲也氏
講演4 「ゴルフ場におけるサステナビリティ」	(一社) エコステージ協会・東京地区理事	山内 優
講演5 「新たな視点での省エネ推進研究の提案」	JEMAS 理事	加藤幸男

- 2) 日 時 2019年2月9日 (土)

- 3) 場 所 東京大学農学部キャンパス 弥生講堂アネックス・講義室
 4) 従事者 6名
 5) 参加者 25名 (環境経営及び環境マネジメントシステムに関心を持つ人—不特定多数)
 6) 支出額 収支計算書参照

(5) 2019年 JEMAS 5月セミナー

- 1) プログラム:「AI・IoT」社会の光と影を適切に理解し、トラブルを防ごう
 講演1 「第四次産業革命とAI、IoT、RPAなどの最新活用事例」

	JEMAS 理事、KAZ コンサルティング 社長	鈴木和男
講演2 「「自分は大丈夫」は大きな誤解 最近のメールによる詐欺やウィルス対応、サイバー攻撃や情報漏洩、デジタル遺品等の気になるニュースと対策のポイント」	SPREAD 情報セキュリティマスター	網倉麻古氏

- 2) 日 時 2019年5月11日 (土)

- 3) 場 所 東京大学農学部キャンパス 弥生講堂アネックス・講義室
 4) 従事者 6名
 5) 参加者 25名 (環境経営及び環境マネジメントシステムに関心を持つ人—不特定多数)
 6) 支出額 収支計算書参照

(5) 世田谷工業振興協会主催 環境経営と企業力改善セミナーに協力

- 1) 第一回テーマ 「中小企業におけるAI・IoT活用」

講師	JEMAS 理事長 東工大非常勤講師	小山富士雄
	JEMAS 理事、KAZ コンサルティング 社長	鈴木和男

日 時 : 2018年11月8日 (木) 18:30から20:00

場 所 : 世田谷産業プラザ3階 小会議室

- 2) 第二回テーマ 「企業を守る情報セキュリティの基礎」

講師	JEMAS 理事長 東工大非常勤講師	小山富士雄
	JEMAS 理事、KAZ コンサルティング 社長	鈴木和男

日 時 : 2019年11月27日 (火) 18:30から20:00

場 所 : 世田谷産業プラザ3階 小会議室

[4] その他、本会の目的を達成するために必要な事業

(1) エコプロ展への出展

毎年12月に東京ビッグサイトで開催されているエコプロ展は国内最大の環境活動に関する展示会であり、JEMASも過去に出展した実績を有する。今回、JEMASがコア出展者となり2コマのブースを使用して、当協会会員が中核となっているエコステージ協会の活動事例の紹介も交えて出展した。

以上

貸借対照表

2019年5月31日現在

法人の名称 特定非営利活動法人 日本環境管理監査人協会

(単位;円)

科目	金額		科目	金額	
I 資産の部			II 負債の部		
1 流動資産			1 流動負債		
現金	41,252		前受年会費	8,000	
預金	42,718		預り金	0	
未収入金	80,000		未払費用	0	
流動資産合計		163,970	流動負債合計		8,000
			固定負債合計		0
2 固定資産			III 正味財産の部		
機械及び装置	20,798		前期繰越正味財産額	254,785	
			当期正味財産増加額	-78,017	
固定資産合計		20,798	正味財産合計		176,768
資産合計		184,768	負債及び正味財産合計		184,768

以上のとおり報告いたします。

2019年7月25日

特定非営利活動法人 日本環境管理監査人協会

理事長 小山 富士雄 (印)

上記は適正なることを認めます。

会費未収分については担当理事が鋭意回収していることを理事会で確認しました

また業務についても、記録文書、理事および他の会員等に対しての口頭質問、理事会での議論聴取、等々から適切にすすめられてきたことを認めます。

監事 岩田 浩一 (印)

監事 岸川 浩一郎 (印)

法人の名称 特定非営利活動法人 日本環境管理監査人協会

1. 事業活動方針

今年度の活動の柱は、①研究会活動(実務研、EPE研)、②総会併設講演会及び各種講演会である。この他、プロジェクトの発掘と推進及び新規研究会の具体的な活動開始を計画している。

また、ISO14001の改訂を機に幅広い視点でMSを捉えると共にSDGsに着目し、今後の企業のあるべき姿を模索すると共に、真に経営改善に貢献できるMSとは何かを追求することとしている。

さらに東日本大震災の復興・復旧、さらには最近の各地での自然災害発生に関連して中小企業対象に節電・省エネの具体的な実行計画提案、再生可能エネルギー利用推進、リスク対応のみならず、サプライチェーンを視点に入れたBCP・BCMの構築等の新たな視点での中小企業の環境経営に資する手法を開発し、情報発信をしていくことも重要なテーマである。

これらの活動の形あるものにするためには他機関との連携も視野に入れることも考慮する。

2. 事業内容

[1] 環境マネジメントに関する調査研究事業(定款第5条第1号に係わる事業以下関連号のみ記す)

(1) 環境監査実務研究事業

2019年度は2015年に改訂されたISO14001の内容及び関連する規格との関係を検討し、それを踏まえての監査(審査)の留意点、および具体的な課題の解決、SDGsをMSに如何に関連付けて行くかについての研究実施を予定している。

1) 内容 監査実務研究会(略称:実務研)

ISO14001改訂版の内容及び監査(審査)の留意点とSDGsとの関連について研究を進める。

2) 日時 定例研究会はほぼ毎月1回

成果発表会(中間発表)の日程は未定

3) 場所 調査研究活動は主として東京中野「AUDIX Registrars 会議室」

成果発表会は主として東京大学の会議室を予定

4) 従事者 延べ90名

5) 受益者 環境マネジメントに携わる多数の人々(不特定多数;会議室の規模で制約)

・成果発表会は40人規模(会場の最大収容人員)、ウェブサイトは不特定多数

6) 支出見込額 2019年度予算書参照

(2) 環境パフォーマンス評価研究事業

ISO14001の2015年改正版やSDGs、ESG、CSRを視野に入れ、企業経営のガバナンス及び成果報告の柱である統合報告書や環境報告書における環境パフォーマンス評価指標について具体的な研究を進める。環境マネジメントの成果を評価する指標は多様である。組織にとってその活動成果のとらえ方も多様であるが、特にSDGsやESGに関する動向を注視しつつ、SDGsを念頭に置いて実用的な環境パフォーマンス評価指標を提供すべく研究を進める。

1) 内容 環境パフォーマンス評価研究会(略称:EPE研)

以下の観点を検討しながら、環境パフォーマンス評価手法及び評価指標の研究を進める。

① ISO14001:2015が求める環境パフォーマンス評価

② 製造業、サービス業を対象とした具体的に使いやすい環境パフォーマンス評価指標

③ SDGs、ESGを配慮した統合指標

2) 日時 原則として毎月1回、定例研究会開催

成果発表会(日時は未定)の開催。

3) 場所 調査研究活動は主として東京新宿の「KAZコンサルティング」会議室

成果発表会は主として東京大学の会議室を予定

4) 従事者 延べ80人

- 5) 受益者 環境パフォーマンス評価とその監査に関心を持つ多数の人々(主として中小企業を対象)
 成果発表会は40人規模(会場の最大収容人員), ウェブサイトは不特定多数
- 6) 支出見込額 2019年予算書参照

(3) サーキュラーエコノミー、LCA等の研究事業

研究目的と内容、研究体制、求める成果等を整理中であり、早急にスタートさせる。

[2] 環境マネジメントに関する情報提供事業(第2号に係わる事業)

(1) 電子媒体による情報発信事業

新聞情報の発信や会員間の情報交換、外部への広報活動を積極的に推進する。

- 1) 内容 ・主要新聞・雑誌情報の原典所在情報の収集と電子媒体(ウェブサイト等)上での発信
 ・環境マネジメントに関する調査研究情報のウェブサイト上での発信
 ・ウェブサイトによる環境問題等の総合的な情報提供
 ・理事会、研究会等の活動の広報や会員情報、投稿を中心としたJEMASニュースの発信
 ・参加型、双方向のメーリングリスト活用
- 2) 日時 通年
- 3) 場所 発信場所は首都圏「運営委員、担当理事の自宅」、
 電子媒体(当協会ウェブサイト、メーリングリスト)
- 4) 従事者 3人
- 5) 受益者 環境マネジメントに関心を持つ人々(不特定多数)
- 6) 支出見込額 2019年度予算案参照

[3] 講演会やセミナー等の事業の企画・運営(第3号に係わる事業)

(1) 環境マネジメントに関する講演会及び研修会等の企画・運営

① 総会に併設した講演会;

1) プログラム

テーマ1: JEMASにおける 研究の狙いと新しい研究会の構想

JEMAS 理事長

小山富士雄

JEMAS 理事

加藤幸男

テーマ1: JEMAS 実務研成果報告(SDGsをEMSにどう取り入れていくか)

JEMAS 理事 AUDIX Registrars 社長

齋藤喜孝

テーマ2: JEMAS EPE研成果報告(SDGsパフォーマンス評価基準)

JEMAS 理事 富士通FIP(株) 環境経営主席コンサルタント

伊藤泰志

特別講演: 「産業廃棄物を資源に変え、自然と美しく生きる」

石坂産業株式会社代表取締役社長

石坂典子氏

2) 日 時: 2019年7月27日(土) 14:30~17:00

3) 場 所: 東京大学本郷農学部 中島董一郎記念講堂

4) 従事者: 8人

5) 受益者: 環境経営・環境マネジメントや企業の経営革新に関心を持つ人々(不特定多数)

6) 支出見込額: 2019年度予算案参照

② 秋の定例シンポジウムその1

1) 内 容: EMSとSDGsについて、SDGsを考慮した環境パフォーマンス指標に
 検討中

2) 日 時: 2019年9月28日(土) 午後

3) 場 所: 東京 本郷 東京大学農学部弥生講堂アネックス、講義室

4) 従事者: 4人

- 5) 参加者： 30人
- 6) 支出見込額 2018年度予算案参照

③ 秋の定例シンポジウムその2

- 1) 内 容： テーマ検討中
- 2) 日 時： 2019年11月30日（土）
- 3) 場 所： 東京 本郷 東京大学農学部弥生講堂アネックス 講義室
- 4) 従事者： 4人
- 5) 参加者： 30人
- 6) 支出見込額 2019年度予算案参照

④ 春の定例シンポジウムその1

- 1) 内 容： 研究会報告（詳細未定）
- 2) 日 時： 2020年2月8日（土）
- 3) 場 所： 東京 本郷 東京大学農学部キャンパス 会議室
- 4) 従事者： 4人
- 5) 参加者： 30人
- 6) 支出見込額 2019年度予算案参照

⑤ 春の定例シンポジウムその2

- 1) 内 容： 研究会報告（詳細未定）
- 2) 日 時： 2020年5月
- 3) 場 所： 東京 本郷 東京大学農学部キャンパス 会議室
- 4) 従事者： 4人
- 5) 参加者： 30人
- 6) 支出見込額 2019年度予算案参照

(2) 中小企業支援活動

東京世田谷区世田谷産業プラザで、中小企業を対象とした環境経営等、当面の課題解決に資するセミナーを世田谷区工業振興協会に協力して行なう。

講演内容は、今後先方と協議の予定であるが、今秋、1～2回開催を予定している。

- 1) 内容 環境経営、省エネ、SDGs、中小企業の経営合理化、産業界の動向等
- 2) 日時 先方と協議の上、とり進める。
- 3) 場所 東京都 世田谷区世田谷産業プラザ 田園都市線三軒茶屋駅前
- 4) 従事者 延べ5名
- 5) 受益者 環境マネジメントに携わる多数の人々（不特定多数；会議室の規模で制約）
・成果発表会は50人規模（会場の最大収容人員）
- 6) 支出見込額 2019年度予算書参照

この他、関東経済産業局、大田区や神奈川県下の各市（川崎、相模原等）の省エネや環境経営推進活動に協力して、各種研究に参画やセミナーへの講師派遣等の協力要請に積極的に対応する。

(3) エコプロ展への出展

昨年に引き続き、エコプロ展に出展し、JEMASの知名度向上と会員が取り組んでいる活動事例を紹介する。出展費用は参加協力団体に分担をお願いする予定である。

以上